

## 霞ヶ関北支会通信



こんなまちにしたい  
健康で明るい町

平成 21 年 10 月 1 日更新

### 私達の町が抱える問題点

8月11日のタウンミーティングにおいて1、「旧霞ヶ関北小学校跡地体育館改修について」、2、「霞ヶ関北公民館移転要望について」を市長に質問致しましたが残念ながら事務方からの回答にとどまりその内容は「見直しをする」でした。1についてはすでに前市長より年度内執行の約束が取り交わされていましたが、市長の交代により「約束事」は反故にされてしまいました。「行政は継続なり」といわれていますが、このような結果を得て地域住民は大変困惑しております。

#### 1、旧霞ヶ関北小学校跡地体育館改修について

のこれまでの経緯

\*平成13年3月の議会で体育館とグラウンドを残して一部売却することが決定（それまで北支会と北自治会とで再三に渡り反対を申し入れていた）。

\*平成14年3月、住宅を建てる計画が示された。

\*平成14年5月27日、市長、助役に会見を求め、一部売却と住宅建設について支会はもとより北自治会は反対であるので撤回してほしいと申し入れたところ市長から其の場で「凍結する」という回答を得た。

\*平成16年2月、「売らない」と市長が宣言。

\*平成19年3月、耐震調査を行い、その結果鉄骨と基礎部分を残して改修するという報告があった。また市当局と地元住民との話し合いの結果、多目的施設としての図面が完成。しかし残念ながら

\*平成20年3月の議会で予算化されなかったため、

\*平成20年3月28日、市長と再度交渉を行い部課長の前で市長から必ず実行するという約束を得た。「細部については部課長と打ち合わせをしてほしい」ということで

\*平成20年4月16日11名の部課長と北支会とで霞ヶ関北出張所で協議した。



## 2、霞ヶ関北公民館の移転要望について

霞ヶ関北公民館は昭和 51 年に建てられ、これまで 30 年余の間、教養を高め、健康を増進し、情操豊かな人間を育成する生涯学習の場として大きな役割を担って来た。しかしながら老朽化が進むとともに、バリアフリーの設備が不十分である、狭隘である等の理由で高齢者や身体の不自由な人が参加できない、多人数の集まる催しが開催できない等様々な問題を抱えているため平成 20 年 11 月に旧霞ヶ関北小学校跡地への移転を申し入れた。



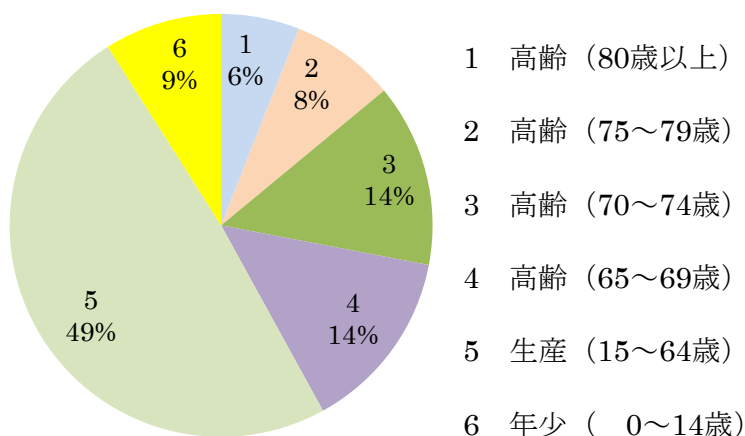
## ❀ 北支会の高齢化について ❀

北支会は川越市内で一番に高齢化が進んでおります（42.1%）。さらに5年後 47.0%、10年後 56.0%に増加し、高齢者人口が生産年齢人口を上回ると予測されています。

こういう状況の中、高齢者の健康を守っていくために、公民館、体育館、グラウンド等の施設を整備し、環境に恵まれた旧北小と小畔川を利用した健康づくりのゾーンにしたいと北支会では考えております。また、こういう施設を造ることによって福祉財政に2割削減の貢献をすることが国際学会等でも報告されております。

**有事の際の避難場所として、高齢者の健康寿命を守っていくために是非とも公民館、体育館等を建設してほしい旨市当局にお願いしています。**

平成21年度霞ヶ関北 人口構造



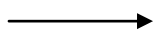
## 私たちの町の防災訓練

9月27日、霞ヶ関北・西自治会合同の防災訓練を実施しました。

両自治会員、ボーイスカウト等約300人が参加し、旧北小跡地において、川越市の大野副市長、近隣の自治会長が見学する中、初めてのブロック別避難訓練と、初期消火、応急救護、起震車体験、小型可搬ポンプによる放水訓練（防災ボランティア）が実施されました。訓練を指導して下さったのは、川越市西消防署と防災ボランティアの皆さんです。



組長の誘導で訓練会場に向かう  
自治会員



初期消火



用具の説明（環境ボランティアによる）





起震車体験



担架を造る練習

小型可搬ポンプの放水訓練 (防災ボランティアによる)

